

収穫したあとのわらなどを 使って何ができるかな

稲からお米を収穫したあとに残る、わらやもみがらには、どのような利用法があるのでしょうか。どのようなものがあるのか調べたり、つくってみたりしましょう。

実験と観察の項目■例

- わらを使って縄をつくる。
- 縄づくりから、しめ縄やリースづくりに発展する。
- 昔はわらを使ってどんなものをつくって利用していたのか調べる。
- ものをつくる以外のわらやもみがらの利用法を調べる。
- バケツ稲づくりの体験を、作文や絵画などで表現する。

実験と観察の方法とポイント

実験 わらを使って、クリスマスやお正月のリースをつくってみましょう。

方法 わらの太いほうを足でふみ、2束のわらをねじって縄をつくりま
す。残りの1束も一緒に針金を固定し、できた縄に残りの1
束をあみ込みます。まとめて針金で固定し、かざりをつけます。

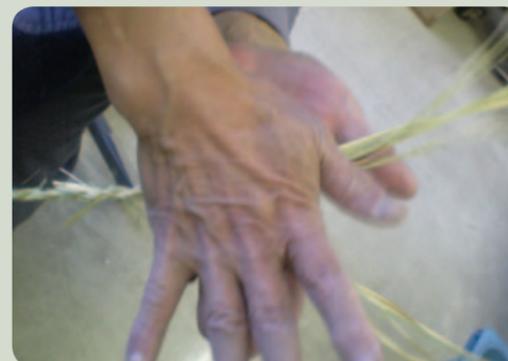
観察 お年寄りに、つくり方を教えてもらいましょう。きれいにあみ込むため
にはどのような工夫をしているのでしょうか。

結果 ウラジロやみかんのかざりをつければお正月用、松ぼっくりやヒイラ
ギをかざればクリスマス用のリースのできあがり。

ポイント

はじめにわらに水をかけてビニール袋にいれておき、その後、木槌などでたたいてやわらかくしておくと、縄にあみ込み
やすくなります。

ちょっとゆだんし
て、縄の先から手
をはなすと、わら
がほどけてしまう
ので、注意してく
ださい。



わらをねじって縄にする



上のほうがきれいにできている



もみがら



白い紙をはさんでしめ縄に

わらでできているもの



たわら



わらじ



ござや
雪靴